

情報系工学研究科博士後期課程における早期修了に関する要項

(趣旨)

第1条 この要項は、岡山県立大学大学院学則第16条第2項ただし書き、ならびに、同条第3項に規定する特に優れた業績を上げた者に係る在学期間の短縮による課程の修了(以下「早期修了」という。)に関し、必要な事項を定める。

(推薦)

第2条 主指導教員は、早期修了に該当すると認められる者(以下「候補者」という)があるときは、副指導教員との協議を経て、学位論文の提出に先だって、所定の期日までに早期修了制度の適用を研究科長に推薦する。

2 前項の推薦に必要な書類とその部数を、次の各号に掲げるものとする。

- | | |
|------------------------|----|
| 一 推薦書(様式1) | 5部 |
| 二 研究業績書(様式2) | 5部 |
| 三 学位論文の基礎となる学術論文(コピー可) | 5部 |
| 四 提出を予定する学位論文の要旨 | 5部 |

3 研究科長は、前項の推薦を受けたとき、情報工学部運営委員会(以下「運営委員会」という。)に早期修了制度適用の推薦がなされたことを報告する。

(審査基準)

第3条 早期修了の審査基準を、次の3項目とする。

- (1) 候補者が特に優れた研究業績を有する。
- (2) 提出予定の学位論文と学位論文の基礎となる学術論文との間で整合性が認められる。
- (3) 標準修業年限を経て博士の学位を授与できる水準以上とする。

(早期修了予備審査委員会)

第4条 運営委員会は、第2条による候補者の報告がなされたとき、候補者ごとに早期修了予備審査委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

- 2 委員会の委員は、大講座または領域ごとに教授1名、専門分野から教授2名の計5名で構成する。ただし、候補者の主指導教員と副指導教員を除く。
- 3 委員会に主査を置き、委員の互選で選出する。
- 4 委員会は、専門分野における研究業績を有する学外者から意見を聴くことができる。
- 5 委員会は、候補者との面接及び基礎となる学術論文の査読状況の照会等を求めることができる。

(審査期間)

第5条 委員会は、主指導教員の推薦のあった日から4週間以内に審査を終了するものとする。

(審査結果の取扱い)

第6条 主査は、審査終了後、審査結果報告書を作成し、速やかに運営委員会に報告する。

- 2 運営委員会は、前条の報告に基づき早期修了候補者の可否を決定する。
- 3 研究科長は、審査結果を主指導教員に示し、主指導教員は審査結果を候補者に通知する。

(学位論文審査の申請)

第7条 前条第3項の通知により、早期修了制度の適用が可と判断された候補者は、通知を受けた日から8ヶ月以内に、情報系工学研究科における課程博士の学位授与に関する要項に基づき学位論文予備審査を申請できる。

(雑則)

第8条 この要項に定めるもののほか、早期修了制度に関する必要な事項は、研究科委員会が定める。

附 則

- (1) この要項は、平成 28 年4月1日から施行し、同日付けで在籍する学生から適用する。
- (2) 第2条に定める所定の期日は、研究科長が年度当初に定めるものとする。
- (3) 第4条第2項に定める、専門分野から教授2名が不足する場合、専門分野を担当できる、①本研究科所属の准教授、②他大学・研究機関所属の研究者から選出する。
- (4) 第4条第2項、および、附則(3)に定める委員は、博士後期課程研究指導適格判定を受けた者、または、それと同等の者とする。
- (5) 附則(3)で選出された他大学・研究機関所属の研究者による見解は書面提出を可とする。情報系工学研究科の課程修了要件に係る在学期間短縮に関する要項は廃止する。
- (6) この要項は、平成 29 年 6 月 14 日から施行する。
- (7) この要項は、平成 29 年 8 月 21 日から施行する。
- (8) この要項は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- (9) この要項は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

(様式1)

博士後期課程早期修了推薦書

年 月 日

岡山県立大学大学院情報系工学研究科長 殿

主指導教員 印

下記の学生を、本学大学院学則第16条に規定する特に優れた業績を上げた者に係わる在学期間の短縮による課程の修了(早期修了)の候補者として推薦します。

記

1 早期修了候補者

年入学

岡山県立大学大学院情報系工学研究科博士後期課程システム工学専攻

学籍番号

氏名

2 推薦理由

(様式2)

研 究 業 績 書			
年 月 日			
氏名 ○○ ○○ 印			
著書, 学術論文等の名称	発行または発表の年月	発行所, 発表雑誌又は発表学会等の名称, 巻号頁	概 要 (著者)
著書			
査読付き学術論文			
国際会議講演論文(全文査読付き)			
その他(総説・解説, 講演発表, 特許, 職務上の実績等)			

論文は発表年月順に記載し, 全著者を(著者)欄に著者順に記入すること.
学位論文の基礎となる学術論文には論文題目の先頭に○印を付けること.

(様式3)

年 月 日

早期修了予備審査会報告書

早期修了予備審査委員会

委員長 (〇〇〇〇〇〇工学領域教授)	〇〇〇 〇〇	印
委員 (〇〇〇〇〇〇工学領域教授)	〇〇〇 〇〇	印
委員 (〇〇〇〇〇〇工学領域教授)	〇〇〇 〇〇	印
委員 (専門分野教授)	〇〇〇 〇〇	印
委員 (専門分野教授)	〇〇〇 〇〇	印

令和〇年〇月〇日に開催された情報工学部運営委員会において承認された早期修了予備審査委員会にて、情報系工学研究科博士後期課程における早期修了に関する要項第3条に基づき審査を行ったので、次のとおり報告する。

記

1 早期修了候補者

年入学

岡山県立大学大学院情報系工学研究科博士後期課程システム工学専攻

学籍番号

氏名

2 早期修了制度の適用 可 ・ 否 (どちらかに○を付すか, どちらかを削除する)

3 審査理由

以上

(様式 4)

博士後期課程早期修了制度適用通知書

年 月 日

殿

情報系工学研究科長

印

令和〇年〇月〇日付で推薦のあった下記の学生に対し、本学大学院学則第16条に規定する特に優れた業績を上げた者に係わる在学期間の短縮による課程の修了(早期修了)の適用を審査した結果は次のとおりです。

記

1 早期修了候補者

年入学

岡山県立大学大学院情報系工学研究科博士後期課程システム工学専攻

学籍番号

氏名

2 早期修了制度の適用 可 ・ 否 (どちらかに○を付すか, どちらかを削除する)

以上